



◆令和2年度第2回学校運営協議会の報告

10月21日(水)第2回の学校運営協議会が開催され、こども園、町内の小中学校、訓子府高校の前期の活動(評価)について報告がありました。

◎**こども園**～未満児の入園率が増加傾向にある。特別な支援を要する園児の指導体制を充実するために副担任制の整備、有資格者の確保が課題である。子どもたちの強い心と体の育成を重点項目に挙げて、新型コロナウイルスの感染防止に総力を挙げて取り組んでいる。

◎**訓子府小学校**～前期の学校評価は、「わからない」という評価が例年より多かった。コロナ禍で参観日、家庭訪問等が実施されなかったことが原因の一つとしてとらえている。今後、参観日を順次行っていく。9月12日に感染対策を徹底して運動会を開催したことで、子どもたちに満面の笑顔が戻った。

◎**居武士小学校**～評議員から、「経営方針や教育活動、子どもたちの様子など、保護者や地域に分かりやすく伝えられている。」「安全で快適な学校生活が送れるよう配慮されている。保護者、地域への対応がきちんとされている。」などお褒めの言葉をいただいた。

◎**訓子府中学校**～新しい取り組みとして「学校生活に関するアンケート」をネットで回答してもらった。課題を精査し継続していきたい。コロナ禍で部活動の大会が中止となったが、代替大会が開催され、それぞれ優秀な成績を収めることができた。修学旅行も8月末に実施した。落ち着いた学校生活を取り戻している。

◎**訓子府高校**～ふるさと教育を推進するにあたり、学校運営協議会と連携を図るため、高校部会を設置した。今年初めて、銀河農園で訓中と連携して馬鈴薯と玉ねぎの栽培活動を行った。次年度以降、こども園や小学校との交流の輪を広げたい。

*10月16日訓高1年生「ふれ合い訓子府DAY」実施 ▶



◆グループ協議 ①これからの訓子府学 ②コロナ・働き方改革で学校が変わる

二つの柱について、3つのグループに分かれて協議を行いました。

《柱1:「ふるさと教育(訓子府学)」第1分野「農業」幼・小・中・高校の連携について》

- ・銀河農園での訓高と訓中の活動について、こども園も加えて交流できるのではないかな。
- ・卒業生やPTAに農家が多い、声をかければ協力してもらえるし、JAや4Hクラブも協力してもらえる。
- ・農家に出向いて体験するのも良いのではないかな。栽培する作物の種類を増やしてはどうか。
- ・農業以外の酪農にも体験活動を広げてはどうか。また、高校生による長期休業中の小学生への学習支援など幅広い交流が必要ではないかな。
- ・教員は転勤があるので、活動を継続するためには、地域の協力や人材の発掘が必要である。

《柱2:ウイズコロナ、ICT化、教員の働き改革で学校が大きく変わることについて》

- ・コロナ禍で、子どもたちはストレスを感じているのではないかな。
- ・フェイスシールドは、先生の表情が分かり、子どもたちにも好評であるなら、もっと活用してはどうか。
- ・先生方は、毎日の消毒作業で大変だろうが、感染予防対策に万全を期してほしい。
- ・働き方改革では、こども園は保育士の確保、高校では部活動の負担になっていて、人材確保が課題になっている。
- ・午後5時半以降を留守番電話に切り替えたことで教員の負担が若干緩和された。
- ・少年団活動の午後4時から6時までの時間帯に指導者が付けない課題がある。
- ・高校でも運動部の指導者に困っている。地域の指導者の情報が欲しい。
- ・ICT化に伴うGIGAスクール構想など、もっと情報が欲しい。

▶ 10月15日 訓小の遠足「町内スタンプラリー」訓子府再発見

*貴重なご意見をたくさんいただきました。作業部会で検討させていただきます。

